



大東文化大学 (埼玉県)

充実した日本語教育、書道をはじめとする日本文化が学べます

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

大東文化大学は、中国古典の研究と漢学を振興する機関として、1923年に開学しました。2023年に創立100周年を迎えました。

創立以来、東洋の文化と西洋の文化を融合した新しい文化の創造を目指しています。

豊かな人格の形成に努め、併せて国際的な視野を持ち、世界の文化の進展と人類の幸福の実現に寄与できる人材を育成しています。

本学では、少人数制クラスできめ細かな学習指導や支援を受けることができます。また日本人学生によるチューター制度や交流会も行っています。

2) 学部・学生数等 (2025年5月1日現在)

学部：文学部、経済学部、外国語学部、法学部、国際関係学部、経営学部、スポーツ・健康科学部、社会学部

大学院：文学研究科、経済学研究科、法学研究科、外国語学研究科、アジア地域研究科、経営学研究科、スポーツ・健康科学研究科

教員数：専任教員数 : 326名
非常勤講師数 : 646名
学部学生数 : 12,020名
大学院生数 : 145名

② 国際交流の実績

大学間協定校数：28カ国 118大学
外国人留学生数：436名
(2025年5月1日現在)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2025年：留学生数 436人、日研生 2人
2024年：留学生数 460人、日研生 1人
2023年：留学生数 434人、日研生 5人

④ 地域の特徴

東松山キャンパスは、緑豊かな大自然に囲まれた魅力あふれるキャンパスです。東京ドーム約6個分の広大な敷地に最新の施設や設備が整っています。緑あふれるキャンパスで落ち着いて学び、充実した学生生活を過ごすことができます。

板橋キャンパスは都心に位置し、モダンなデザインと快適な学びの環境が両立しています。カフェテリアなど落ち着ける場所をはじめ、パソコン166台を常設した図書館など、理想的な学習環境が整っています。



■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b)主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

日本語プログラムを中心に研修を行います。日本人学生と会話活動する授業があり、日本語の授業で学んだことを実践につなげていきます。また日本文化・社会について学び、自分の専門分野の理解を深め、将来、日本との架け橋となる人材の育成を目的としています。

チューター制度や部活などで日本人学生と積極的に交流し、授業だけでなく大学生活全体を通して日本を学び、経験を積んでいきます。

③ 受入定員

6名 (大使館推薦5名、大学推薦1名)



④ 受講希望者の資格、条件等

- ・自国の大学で日本語・日本文化関連分野を専攻していること
- ・教育機関で1年以上日本語を学習し、日本語学習への強い動機・熱意を有すること
- ・日本と母国の架け橋となる人材としてふさわしいこと
- ・留学の目的が明確であること

⑤ 達成目標

- ・効果的に日本語を運用できるようになる
- ・文法を含む「読む・書く・聞く・話す」の総合的な日本語力、またはアカデミック・ジャパニーズを習得する
- ・日本の文化・社会への理解を深める
- ・自身の専門分野の知見を深め、帰国後の学習のさらなる充実につなげる

⑥ 研修期間（在籍期間）

2026年8月下旬～2027年8月下旬

※オリエンテーション参加のため、在籍開始前の8月下旬に来日できることが採用の条件
（在籍期間：2026年9月1日～2027年8月31日）

⑦ 奨学金支給期間

2026年9月～2027年8月

⑧ 研修・年間スケジュール

8月下旬	渡日（2025年は8月27日） オリエンテーション プレースメントテスト
9月中旬	秋学期開始
9月下旬	ウェルカムパーティー
10月下旬	留学生国内研修旅行
11月	大学祭
11月～12月	近隣の学校との交流授業
翌年1月	秋学期終了
翌年2月	日本文化体験イベント
翌年4月	春学期開始
翌年7月	留学報告会
翌年8月	春学期終了
翌年8月下旬	帰国

⑨ コースの修了要件

学期初めに指定された科目を含め、各学期7科目以上（年間14科目以上）を履修すること。履修科目はC評価以上で単位認定の対象とし、修得した科目・単位は成績証明書に明記する。14科目以上の単位を修得した者には修了証書を発行する。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の概要・特色

来日後に日本語プレースメントテストを実施し、レベル別クラスを編成します。日本語の授業と日本人学生との共修授業を組み合わせ、発信力・課題解決力・異文化理解を実践的に身につけます。

日本語科目は「集中日本語」と「発展」の2コースに分かれています。教室外での課外活動や地域交流の機会も用意されています。

2) 研修・コース開設科目

(I) 必修科目

●集中日本語コース（7科目/週×15週）

初級から中上級までの5レベルに分けてクラスを編成しています。

「集中日本語演習1A/B1～3A/B8」「グローバルスタディ5/6」から指定された7科目を履修し、4技能を総合的に強化しながら「使える日本語」を身につけます。

●発展コース（3科目/週×15週）

JLPT N2で120点以上の者が対象です。アカデミック日本語を習得する「理解とコミュニケーションA/B」「日本語文章表現A/B」「資料・文献読解A/B」を必修とします。このコースの履修者は、発展コース・内容コース・学部科目から合計7科目以上を履修します。



(II) 選択科目

●内容コース（各1科目/週×15週）

JLPT N2以上で履修できます。
「現代日本の諸相A/B」「日本の政治・経済・社会A/B」「日本の文化・芸術A/B」「日本の歴史A/B」を通じて、文化・社会・歴史、異文化理解について学びます。
※開講状況は年度により異なります。

●学部科目

学部所定の日本語力要件を満たし、担当教員の許可を得たうえで、各学部の開設科目を履修できます。専門分野を日本語で学ぶことができます。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

以下の課外活動を予定しています。

- ・近隣の中学校、高等学校での交流授業
- ・地域国際交流協会主催行事への参加
- ・各種日本語スピーチコンテストへの参加
- ・一般家庭へのホームステイ（1泊2日）

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

・現代日本の諸相 B ※使用言語：日本語
日本人学生とグループを組み、ビジネス場面を想定した課題解決型ディスカッションを行い、成果を発表します。

・グローバルスタディ1, 5, 6
※使用言語：日本語/英語
日本人学生とペア/グループを組み、身近な話題を通じて自己理解と日本理解を深める会話活動を行います。

・グローバルスタディ2, 3, 4, 7, 8
※使用言語：英語
日本や世界の文化・歴史について、日本人学生とともに学びます。



⑪ 指導体制

責任者：国際交流センター所長

指導体制：

専任教員（教授） 正宗 鈴香

特任教員（准教授） 大河原 尚

非常勤講師 11名

国際交流センター職員 10名



■ 宿 舎

留学中は大学寮に滞在することができます。
※ドーマー鶴ヶ島が満室の場合別の寮を紹介します。

【ドーマー鶴ヶ島】

定員：32名

設備：バス、トイレ、冷蔵庫、机、椅子、ベッド、
エアコン、インターネット（キッチン、洗濯機、乾
燥機、電子レンジは共用）

費用：月6万円～

（別途光熱水費が約5,700円支払が必要）

※8月上旬までの退寮が必要、以後は各自で滞在先
確保が必要

オプション：

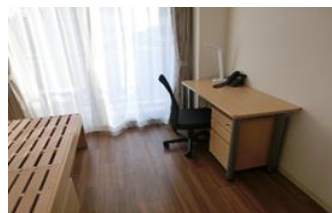
・食事（朝・夕 ※土日は除く）月額19,360円

・寝具レンタル 半年20,020円、1年31,900円

※金額が変更になる可能性があります。

支払い方法：

来日前に1学期分の室料30万円（5カ月分）の寮費
の請求書をメールでお送りします。来日前に海外送
金で支払いを行ってください。困難な場合は、柔軟
に対応します。



■ 修了生へのフォローアップ

日本の大学・大学院への進学や企業への就職を希望
する修了生に対し、個別相談およびアドバイスを実施
しています。



■ 問合せ先

<担当部署>

大東文化大学国際交流センター（板橋）

住所 〒175-8571

東京都板橋区高島平1-9-1

TEL +81-3-5399-7323

FAX +81-3-5399-7823

E-mail dbustudents@jm.daito.ac.jp

大東文化大学国際交流センター（東松山）

住所 〒355-8501

埼玉県東松山市岩殿560

TEL +81-493-31-1536

FAX +81-493-31-1535

E-mail dbuexchange@jm.daito.ac.jp

<ウェブサイト>

大東文化大学 ホームページ

<https://www.daito.ac.jp/>

大東文化大学 国際交流センター ホームページ

https://www.daito.ac.jp/international_exchange/

英語版（English）

<http://www.daito.ac.jp/english/>